

▼フレンズコーナー

みんなで守る。

橋のセルフメンテナンスふくしまモデル

株式会社アイ・エス・エス/コンサルティング事業部/仙台営業所
日本大学工学部客員研究員

浅野 和香奈



住民と学生による協働の道づくり

平田村では「協働による村づくり」を推進しており、役場が住民に資材を提供して、住民自らが村道をコンクリート舗装する取組が長年行われていました。そこに、大学から若い学生の労働力を提供し、村民と学生による協働での道づくりが始まりました。学生にとっては現場実習にもなります。この道づくりは村民・役場・大学・建設業の4者が協働で砂利道をコンクリートで舗装する取り組みです。道を舗装することで、通行に関する問題を解決するだけでなく、産学官民の4者それぞれにメリットが得られることを目指し、2012年から現在に至るまで取り組んでいます。道づくりの後には、平田村の野菜を使ってお母さん方が美味しい料理を作ってくれたり、BBQをご馳走になることもあり、産学官民の地域交流の場になっています。この道づくりをきっかけに、橋を地域住民で守る仕組みを作れないかと考えました。



●平田村での道づくり

橋のセルフメンテナンスモデル

そこで2015年度から試行を続けて「橋のセルフメンテナンスモデル」を構築しました。「橋のセルフメンテナンス」は「地域の橋を、その利用者である住民や管理者らが日常的に点検し、簡易なメンテナンスを行うことにより、健全な状態に維持すること」と定義しました。住民でも点検できるように作成した簡易橋梁点検チェックシートにより住民が地域の橋を点検し、橋の上の土砂や雑草などの汚れ具合をウェブ上で見ることができ、橋の清掃活動を行う、というものです。この橋のセルフメンテナンスサイクルがうまく機能することで、橋の長寿命化を図り、住民の社会インフラの現状への理解が深まってほしいと考えました。

簡易橋梁点検チェックシート

住民でも安全に、そして分かりやすく、楽しく点検できるよう、簡易橋梁点検チェックシートを作成しました。こ

表面 チェック項目	裏面 損傷例写真
<p>簡易橋梁点検チェックシート</p> <p>①住民が安全に点検できる橋の上の6項目を選定しました。</p> <p>②住民でも点検する部材の名称が分かるように橋の上の絵を設置しました。</p> <p>④点検項目毎に色を統一し表面と裏面をリンクさせました。</p> <p>③損傷の有無と程度を記入することで現状の把握ができます。</p>	<p>⑦安全に活動するための10の規約もQRコードを読み取り確認と承認ができます。</p> <p>⑥災害や事故などの緊急時にはQRコードから通報できる「橋の119番」を設けました。</p> <p>⑤点検者の安全を守る点検の注意事項を設けました。</p>

●簡易橋梁点検チェックシート